

学校・教育機関の皆さまへ

命の学びと絆のまち南三陸

暮らしの中で学ぶ、命と絆の6日間

訪日研修旅行のご紹介



南三陸町観光協会
MINAMISANRIKU
311 Memorial

南三陸
311メモリアル
MINAMISANRIKU
311 Memorial

南三陸町について

南三陸町は日本の東北地方・宮城県の沿岸部にある、美しい海と山に囲まれた人口約11,000人の海沿いの小さな町です。古くから漁業と農業が盛んで、豊かな海の幸と美しい自然、そして震災の経験を受け継ぐ人々の温かさに触れられるのがこの町の魅力です。



東日本大震災について

南三陸町は、過去の津波被害を教訓に防災訓練を重ね「災害に強いまちづくり」に取り組んできました。しかしながら先の東日本大震災では、想定をはるかに超える規模の津波により甚大な被害を受けました。



南三陸町の被害（震災当時の人口：1万人7,666人）

震度6弱の揺れと**最大20メートル超の津波**が町の中心部を襲い、住宅の約70パーセントがほぼ全壊。

町役場をはじめ、警察署、消防署、公立病院も大きな被害を受け、なかでも防災対策庁舎においては、最後まで避難を呼びかけていた多くの職員らが犠牲となりました。

死者 **620人**

行方不明 **211人**

全壊家屋 **3143戸**

半壊家屋 **178戸**



台湾と南三陸の深いつながり | きっかけ

病院を失ったわたしたちを支えてくれた台湾の支援

津波で町唯一の病院を失い、多くの町民が町外に移りました。

再建には大きな課題がありましたが、その時に手を差し伸べてくれたのが台湾の方々です。台湾赤十字組織をはじめとする寄付や協力により、2015年12月に医療と福祉機能を備えた「南三陸病院・総合ケアセンター南三陸」が完成しました。

現在も地域医療の中心として住民の暮らしを支え続けており、深く感謝すると共に、この出来事は南三陸町と台湾の深い絆を象徴しています。





海を越えてつながる絆

支援という「ご縁」がきっかけでしたが、「支援をいただいた、助けられたという関係性だけで終わらせたくない」

——そうした思いから、若い世代を中心に交流を深めてきました。

支え合いは互いを気遣う関係へ広がり、心のつながりを深めました。交流は今も途切れることなく続いています。

南三陸から台湾へ

- 台湾南部地震（2016年）に義援金を送付、学校や地域での募金活動を展開
- 「謝台湾」イベントに参加し、感謝を伝達
- 台湾でのPRイベントや現地交流を継続

台湾から南三陸へ

- 教育旅行やインターンシップで学生が継続訪問
- ホームステイで町民と深い交流、帰国後も連絡を取り合う関係に
- コロナ禍でもオンライン交流を実施

宮城県 南三陸町で学ぶ

訪日研修旅行のご紹介

嘉義縣立竹崎高級中學
語文國樂實驗班日本教育旅行

宮城県 南三陸町への国際教育旅行

暮らしの中で学ぶ、命と絆の6日間

震災からの復興の道のり、支えてくれた台湾との絆、

そして人と人とのつながりを大切にする地域文化。

民泊での生活、地域の人々とのふれあい、語り部による震災当時の証言——。

生徒たちは防災・福祉・地域の暮らしといったテーマを
体験と交流を通して学ぶことができます。

「また会いたい人ができた」「あの言葉が忘れられない」

そんな心に残る学びの旅を南三陸で。



南三陸で育む3つの学び

どんな困難も生き抜く
人の強さ・レジリエンス



被災地だから学べる
本当に役に立つ防災学習



都市では触れられない
伝統的な暮らしと産業体験



人々の強さ、実践的な防災、暮らしの文化。南三陸ならではの学びがここにあります

南三陸のホームステイの特徴 | 3泊～2週間以上の長期滞在型

参加した学生が口をそろえて『一番の思い出』と語るホームステイ。

農業・漁業・民宿を営む一般家庭に連続して滞在することで、観光では味わえない“日本の普通の暮らし”を体感できます。



ホームステイ滞在中の1日の流れ（例）

7:00～	起床～朝ご飯	ホストファミリーが用意した朝食を食べながら「今日は何をするの？」から会話が始まります。
9:00～	体験プログラムへ	防災学習、日本語学習、神社見学、農業体験、キリコ体験など多彩なプログラムに参加します。
16:00～	帰宅・夕食準備	帰宅後はホストファミリーと一緒に夕食の準備。食材を切ったり、盛り付けを手伝ったりします。
18:00～	夕食	家族のように食卓を囲み、学校のことや文化の違いなど話が弾みます。
19:00～	片付け・団らんタイム	食後は片付けを手伝い、TVを一緒に見ることも。お互いについて語り合う温かな時間です。
22:00～	就寝	翌日に備えて早めに休みます。

- 南三陸滞在期間中、毎日同じ家庭に宿泊する連続ホームステイ形式
- 1家庭当たり3～6名の生徒を受け入れ
- ホストファミリーは受け入れに慣れており、安心して交流できる環境が整っています。

**出発前の不安と緊張も、帰る頃には「また会いたい」に変わります。
長期滞在だからこそ、日本で“もうひとつの家族”と出会えます。**

長期滞在型ホームステイのメリット

家族のように寄り添う環境でのホームステイは、日本文化を肌で感じながら自立心や協調性を育み、生徒の将来につながる成長の場となります。

日本文化や価値観を
“暮らし”から実感できる



ホームステイは観光では得られない貴重な機会です。食卓での会話、家族の考え方、休日の過ごし方などを通じ、日本の文化や人の温かさを肌で感じ取ることができます。



異文化への理解

人とつながる日本語
が自然と身につく



ホストファミリーとの日常会話を通じ、教科書にはない表現や自然な日本語に出会えます。実際に使う体験を積み重ねることで、知識が「使える力」へと変わっていきます。



語学力アップ

「自分で考え動く力」
が自然と養われる



他人の家庭で暮らす中で、ルールを守る・配慮する・自分で考えて動くといった姿勢が自然と育ちます。将来の進学や社会生活につながる自立心や協調性が養われます。



生活力アップ

そばにいる安心感
が心を支える



初めての長期滞在でも、ホストファミリーがそばにいることで安心して過ごせます。不安や体調不良の際にも頼れる存在があり、心強い支えとなります。



精神面サポート

暮らしの中で学ぶ、命と絆の6日間 | スケジュール例

南三陸でじっくりと暮らしに触れながら、防災・文化・交流を深く学べる特別な6日間です。
滞在中の食事・宿泊・体験プログラムは、学校さまのご希望に合わせてご提案します。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
	日本到着～ 南三陸へ移動	歓迎式～生命学習体験	学校交流	さまざまな体験プログラム（ご選択可能です）		お見送り～帰国
午前（ミンチン）	台北 ↓ 仙台 ↓ 南三陸	<ul style="list-style-type: none"> 歓迎式 オリエンテーション 南三陸311メモリアルラーニングプログラム 商店街でランチ 	<ul style="list-style-type: none"> 歓迎式 授業体験 グループワーク 昼食 校内案内 交流会 部活動体験 閉会式 	郷土料理体験 & 地域住民と一緒に ランチ	<ul style="list-style-type: none"> 漁業体験 BBQ or 古民家で ランチ 	お別れ式 松島 or 仙台 近郊でランチ
午後		<ul style="list-style-type: none"> 台湾出身在住者による語り部バス案内 ホストファミリーとの対面式 	<ul style="list-style-type: none"> 交流会 部活動体験 閉会式 	キリコ体験	座禅体験	帰国 (仙台→台北)
夜	ホテル泊	ホームステイ（夕食の準備～夕食・歓談）				

6日間の 研修旅行例

- 最少催行人数10名 ・料金：13万円～
- 料金に含まれるもの：研修期間中の宿泊費、体験費用、仙台⇄南三陸間の交通費
- 料金に含まれないもの：航空券（台湾⇄仙台間）、台湾国内での移動費、旅行保険、その他個人的な費用



歓迎式とホストファミリーとの出会い

東北を訪れるのが初めての学生たちに向けて、まずは南三陸町のことを紹介します。
ホームステイは対面式から始まり、緊張や不安もありますが期待を胸にホストファミリー宅へ向かいます。

オリエンテーションにて南三陸町の紹介



日本の伝統的な昔遊び「かるた」に挑戦



対面式でホストファミリーと初顔合わせ



初日は様々な交流の場を設けることで、みなさんの緊張をほぐしていきます！

滞在期間中に選べる、多彩な学びと体験プログラム

滞在期間中は、南三陸ならではの多彩な体験プログラムをご用意しています。
命を守る学びから、自然・文化に触れる体験まで、生徒一人ひとりの学びと成長につながります。

命を守る学び

生命学習体験

語り部プログラムや防災学習を通じて、震災の教訓から命を守る大切さを学びます。



同世代との交流

学校交流

地元校との授業や部活動体験を通じて、日本の学校生活や同年代の文化を肌で感じます。



人と食のふれあい

交流・食体験

郷土料理づくりや座禅、食事交流を通じて、地域の人々との温かなつながりを深めます。



南三陸の手しごと

ものづくり体験

南三陸の地場産業や伝統文化に触れる体験を楽しみます。



海と森の自然学習

自然・環境体験

漁業・農業・自然観察を通じて、南三陸の豊かな自然と暮らしのつながりを学びます。



台湾出身の佐藤金枝さんによる「語り部バス」

バスに乗り、台湾出身の語り部・佐藤さんの案内で震災現場を巡る学習プログラム。被災現場を訪ねながら当時の体験を聞き、復興の歩みを学びます。



南三陸在住20年・震災も経験

佐藤金枝さん（台湾・台北市出身）

- 1994年に来日、結婚を機に南三陸へ移住
- 国際交流協会の理事として活動（2005年～）
- 震災時には中学校講師として外国ルーツの子どもを支援

佐藤さんの被災エピソード

震災のひと月前に増築を終えたばかりだった家は、何ひとつ残らず流失していた。呆然とする金枝さんに、もっと打ちのめされているはずの夫が明るく言った。「何もないから、片付ける手間もいらぬな。」その一言で気が楽になった。それが現実を受け入れることができた瞬間だった。

みなれば https://www.m-kankou.jp/mina_repo/14477.html/



佐藤さんと巡る語り部バスコース例
防災対策庁舎 → 戸倉公民館 → 南三陸病院

どんな困難にもあきらめずに立ち向かい、乗り越えてきた姿から、「レジリエンスの心」を学べます。

お別れ式

別れの時には対面式で緊張していた生徒たちも、ホストファミリーから「また来てね」「自分の子どものようだった」といった言葉がかけられ、互いの別れを惜しみ、抱き合う姿も。



参加した生徒さんの感想



旅行中は色々と特別な体験をすることができました。特にホームステイでの体験が印象的でした。お父さんとお母さんが毎日美味しい料理を作ってくれて毎日お腹がいっぱいになりました。

もし観光で日本に100回来てもこんなに特別な体験はできなかったと思う。この旅は私の想像をはるかに超える実り多いものでした。

今回研修旅行に参加して本当によかったです。ありがとうございました。

(開南大学 應日2年 / 男性)

災害時に連絡を取り合ったり、結婚式に招待するなど、帰国後も家族のような交流が続いています。

台湾を中心とした国際研修旅行の受け入れ実績

南三陸での研修旅行は2018年から本格的に始まりました。

特に台湾からの嘉義高級中学や竹崎高級中学とは、長年にわたり継続して交流を深めています。

実施時期	学校名	国名
2018年	ラオス大学生ご一行	ラオス
2018年5月	竹崎高級中学	台湾
2018年夏	嘉義高級中学	台湾
2019年5月	竹崎高級中学	台湾
2019年夏	嘉義高級中学	台湾
2019年夏	明達高級中学	台湾
2023年6月	竹崎高級中学	台湾
2023年夏	嘉義高級中学	台湾
2024年5月	竹崎高級中学	台湾
2024年7月	トリニティ大学	アメリカ
2024年夏	嘉義高級中学	台湾
2025年1月	中正大学	台湾
2025年5月	東呉高級工業家事職業学校	台湾



10年間で南三陸に
迎えた台湾の学生
(2015~2025年)

累計 1900名



上記に加え、台湾の大学生向けに夏休み・冬休みの時期を中心に、これまで7回の募集型研修旅行を実施しています。
(実績：2018年夏・冬／2019年夏／2021年冬／2023年夏・冬／2024年夏)

体験談 | 台湾国立嘉義高級中学 日本語サークル 王 嘉暄先生

2017年にはじめて南三陸から台湾・嘉義高級中学を訪問、そしてその翌年2018年には同校の日本語研修団の南三陸訪問が実現。以後、南三陸と台湾の交流が続いています。

台湾国立嘉義高級中学

日本語サークル 王 嘉暄先生のインタビュー



台湾の高校は、ほぼ毎年国際教育旅行を実施しています。そのため、日本との学校間交流や生徒たちが日本へ行くこと自体は、そこまで特別なことではありませんでした。

しかし、南三陸町では日本語を勉強している生徒たちのために、短期ホームステイと2週間の日本語学習コース、そして、南三陸町ならではの暮らしの体験を提供してくれます。特に、職場体験やさまざまなプログラム体験の実施を通じて実践的な日本語会話の学習ができるため、生徒たちが実際に日本語を使える場面が多いというのも魅力的でした。

さらには、観光協会のスタッフが全行程をアテンドしてくれるため、引率としても全行程を一緒に参加しなくても良いほど安心できるというのも有難かったですね。何よりも、観光協会の皆さんが体験したい側の声（要望）を聴いてくれて、こちらの学ばせたいニーズも踏まえ、各交流活動(大学訪問・現地高校生とスポーツ交流・お祭りの踊り大会出場等)を手配してくれました。これが、私が毎年生徒たちを連れて南三陸町に行く最大の理由です。

帰国後に生徒たちの感想を聞くと「日本の家族ができたので南三陸はすでに自分の第二の故郷だ」と思っている生徒がほとんどでした。

さらに、2週間の研修で刺激と感動を受けたことで、数名の生徒が帰国後真剣に日本語を勉強した結果、国の奨学金留学試験に合格し、日本の大学へ留学するまでやり遂げた生徒もいました。

南三陸町での体験は、生徒たちの人生を変えたと実感しました。

長期滞在が難しい場合は「1泊からのホームステイ・ホームビジット体験」も

時間がなくホームステイが難しい場合でもご安心ください。

「1泊からのホームステイや、日帰りのホームビジット体験もご用意しています。どうぞお気軽にご相談ください！」



※1家庭3~6名、最大40名程度、3時間程度（時期や予約状況により変動）



一緒に料理をしたり、近所を散策したり。
南三陸の田舎暮らしは日帰りでも十分楽しんでいただけます！

南三陸のサポート体制

「引率できない」「準備に不安」そんなお悩みも私たちにお任せください。

南三陸ではプログラムのご提案から現地でのサポート、修了証明書の発行まで、安心して任せられる体制と実績があります。

フルオーダー対応



防災・農業・探究など、目的や学年に応じて内容を自由に設計。

東京の観光との組み合わせも可能で、柔軟に調整できます。

引率不要でも 安心の現地サポート



引率者の同行がなくても、現地コーディネーターが全行程をサポート。

翻訳・日程調整・緊急時対応などにも専属で対応します。

修了証明書の発行



長期研修旅行参加者には活動の記録や成果をまとめた修了証を発行可能。

帰国後の報告や入学申請用資料としても活用でき、保護者や学校への報告にも便利です。

豊富な実績・ 安心の体制



台湾・アメリカなどからの受け入れ実績あり。

ホストファミリーの選定基準や保険制度、緊急対応マニュアルも整備済みで安心です。

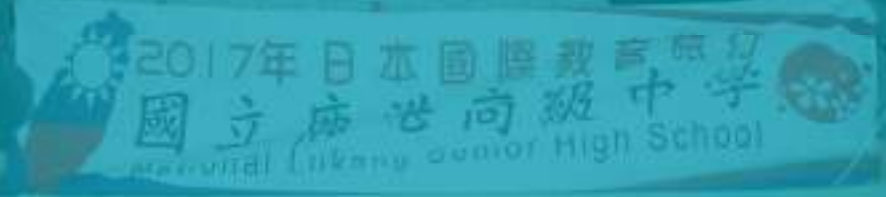
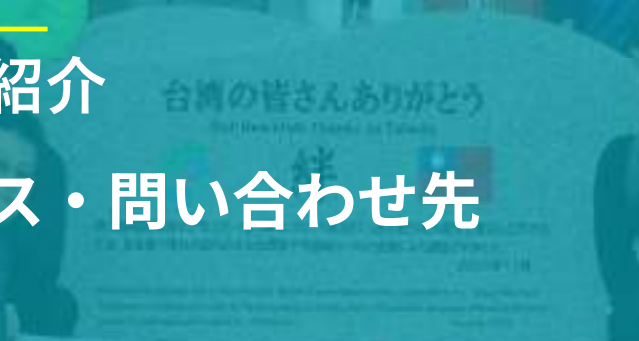
研修旅行に関するFAQ

- | | | |
|----|----------------------------------|---|
| Q1 | 引率者は全行程に帯同する必要がありますか？ | 必須ではありません。現地には専属のコーディネーターが常駐しており、空港での出迎えから帰国まで、全行程にわたって丁寧に対応します。そのため、引率者が帯同せずに生徒のみでの参加も可能です。もちろん、同行も歓迎しています。 |
| Q2 | 各言語は通じますか？
日本語が話せない生徒も大丈夫ですか？ | 基本的な日本語での交流が前提ですが、サポート体制があります。簡単な会話を中心に、生徒が“使ってみること”自体が目的でもあるため、日本語初級レベルでも歓迎です。必要に応じて中国語や英語が可能な現地スタッフが対応できる体制を整えています。 |
| Q3 | 行程は協会側で作成しますか？
オーダーも可能ですか？ | フルオーダー型で対応しています。「このテーマで学ばせたい」「この場所を訪問したい」など、ご希望を伺いながら、目的に沿ったプランをご提案します。 |
| Q4 | 日程を延ばしたり、短縮することは
できますか？ | 柔軟に対応可能です。通常は5～7日程度の滞在ですが、ご希望に応じて短期・長期どちらも設計可能です。 |
| Q5 | 南三陸以外の地域と組み合わせることは
できますか？ | はい、可能です。東京や仙台での観光、大学・専門学校見学など、他地域との組み合わせも好評です。全体の移動ルートや予算に応じて効率的にご提案します。 |
| Q6 | ホームステイはどういう形式ですか？
何人で泊まりますか？ | 原則として、1家庭あたり3～6名まで、同性同士での受け入れです。文化的・宗教的な配慮にも対応しており、アレルギーや習慣なども事前に確認したうえでマッチングを行います。 |
| Q7 | 企画開始から出発までは、
どのくらい前に相談すべきですか？ | 通常は3～6ヶ月前を目安にご相談ください。学校側のスケジュールや予算審査、渡航手続きに必要な時間を考慮し、早めのご連絡をおすすめしています。 |
| Q8 | 実施できない時期・避けた方がよい
時期はありますか？ | 日本の大型連休時・年末年始・5月（日本の修学旅行受け入れピーク月）は調整が必要です。また、地元の学校スケジュールや大型イベントとの重複は避けるよう、相談の際に調整いたします。 |
| Q9 | 事故や病気になった場合はどうしますか？ | 連携する医療機関等といっしょに適切に対応します。また医療機関等の受診のために海外旅行保険に加入して来訪されることをお願いしています。 |

ホームステイ以外にも盛りだくさん！

体験プログラムのご紹介

南三陸までのアクセス・問い合わせ先



生命学習体験

語り部プログラムや防災学習を通じて、震災の教訓から自分を守る・命を守る大切さと行動を考えるプログラムです。

ラーニングプログラム

南三陸311メモリアルで行う体験型プログラムです。住民の証言映像を視聴し「もし自分がそこにいたらどう考え、どう行動するか」を参加者同士で対話しながら深く学びます。



人数：10～50名

可能期間：通年

語り部による学びのプログラム

語り部の案内で実際の被災現場を巡るプログラムです。移動中に震災当時の様子や体験談を聞き、要所で下車して歩きながら復興の軌跡を学びます。



人数：10名～

可能期間：通年

交流・食体験

郷土料理づくりや食事交流、座禅などを通じて地域の人々との温かなつながりを深めます。

郷土料理体験



人数：10～30名

座禅体験



人数：10～30名

そば打ち体験



人数：8～20名

古民家での昼食



人数：5～35名

可能期間：通年

学校交流

地元校との授業や部活動を体験し、同世代交流を通じて日本の学校生活や文化を肌で感じ、友情関係を築くことができます。



学校交流

終日パターン例

- ・ 歓迎式
- ・ 授業体験
- ・ グループワーク
(文具を使い、チームで高さを競うなど)
- ・ 昼食
- ・ 校内案内
- ・ 交流会
(互いの学校紹介やパフォーマンス披露)
- ・ 部活動体験
- ・ 閉会式

半日パターン例

- ・ 歓迎式
- ・ 授業体験
- ・ 清掃活動
- ・ 部活動体験
- ・ 閉会式

※南三陸町では、小学校5校・中学校2校・高校1校での受け入れが可能です。町外の学校との交流をご希望の場合も、どうぞご相談ください。

人数：40名

可能期間：通年

ものづくり体験

南三陸の手仕事や伝統文化に触れる様々なものづくり体験を楽しんでいただけます。

貯金ダコ絵付け

南三陸町の名産であるタコをモチーフとした「置くと(試験に)パス」する縁起もの「オクトパス君」の貯金箱です。真っ白な貯金箱に好きな色を塗り、世界でひとつだけのオリジナル「オクトパス君」が作れます。
(2,420円/1人)



人数：1~180名

可能期間：通年

ミニモアイ像色塗り体験

南三陸町にはチリから贈られた本物のモアイ像があります。過去の災害を経て繋がった南三陸とチリ。自由に絵柄を描いて世界にひとつだけのオリジナルモアイ像を完成させましょう。
(1,430円/1人)



人数：10~150名

可能期間：通年

杉枝スプーン・フォーク作り

インスピレーションでお気に入りの木材を選び、小刀で薄皮を剥ぎ、紙やすりで丁寧に磨いていきます。
(2,200円/1人)



人数：1~180名

可能期間：通年

まゆ細工

伊達藩の養蚕発祥の地で、地域のお母さん方と楽しく交流しながら「まゆ細工作り」にチャレンジ!
(1,210円~/1人)



人数：2~80名

可能期間：通年

藍染め

南三陸の大地で太陽をいっぱい浴びて育った自家栽培藍のみを使って作った染料液で染める世界にひとつのオリジナル「手ぬぐい」をつくります。
(2,750円/1人)



人数：2~20名

可能期間：3~11月

自然・環境体験

海と森が育む南三陸の漁業・農業・自然観察を通じて、豊かな自然と暮らしのつながりを学びます。

漁業体験

南三陸の基幹産業・漁業について学ぶ体験プログラムです。漁船での湾内周遊や紙芝居、生き物観察、ロープワークなどを通じて、漁師の仕事や養殖漁業の仕組みに触れます。
(3,630円/1人)



人数：8～100名

可能期間：5月～9月末

農作業体験

地域の気候や風土によって育まれる農業にふれ、土に触れながら農作業を体験します。野菜の定植や草取り、収穫などを通して、食材や農作物への理解を深めます。



※時期によって体験内容が異なります。
(2,200円/1人)

人数：20～120名

可能期間：4月～11月

化石発掘体験

実際の発掘現場で化石採集を体験。太古の地球の痕跡に触れ、自分の手で掘り出した化石を持ち帰ることもできます。
(2,530円/1人)



人数：3～40名

可能期間：3～11月

足漕ぎカヤック「HOBIE」

5人乗りの足こぎカヤック「HOBIE」を操作しながら、海の自然を全身で感じられる体験。協力して進むことで、チームワークも深まります。
(7,150円/1人)



人数：16～40名

可能期間：5～10月

キリコ体験

南三陸の家々に伝わる切り紙「キリコ」の制作体験。地域に根づく信仰文化や、祈りのかたちに触れる学びの機会となります。
(2,420円/1人)



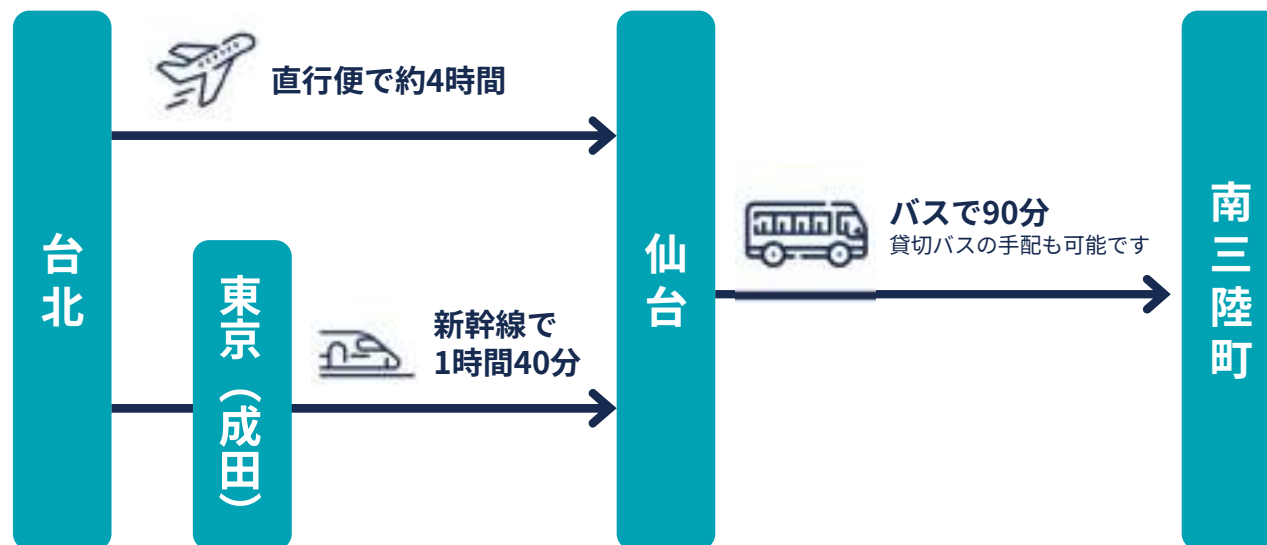
人数：10～40名

可能期間：通年

台湾からのアクセス

台北から仙台への直行便は毎日複数便が運航。

エバー航空・スターラックス航空などが運航しており、飛行時間は約3時間30分～4時間です。



航空会社		フライトスケジュール	
エバー航空	往路	BR 118	桃園 10:05 → 仙台 14:35
	復路	BR 117	仙台 16:05 → 桃園 18:55
スターラックス航空	往路	JX 862	桃園 11:35 → 仙台 16:00
	復路	JX 863	仙台 17:20 → 桃園 20:10

南三陸での出会いと学びが、
未来を切り拓く力になると信じています。

お気軽にお問い合わせください！

本プログラムに関するお問い合わせ

一般社団法人南三陸町観光協会

【旅行業登録番号：宮城県知事3-330号】

TEL：0226-47-2550 MAIL：post@m-kankou.jp ※受付時間 9:00～18:00（元日のみ休業）

南三陸観光ポータルサイト <https://www.m-kankou.jp/>



<https://www.m-kankou.jp/tw/>

お問い合わせはLINEから！

ともだち追加ののち、直接お問い合わせください。

